

# 自主・友愛・剛健

## 『プラスのストローク』3年生も“中学校生活”ラストスパート！

3年生が全員出席するのも“残り7日”となりました。すでに進路が決定している生徒もいますが、1週間後に行われる県立高校の一般入試に向けて最後の準備をしている生徒もいます。3年生全体でしっかりとサポートしていけたらいいですね…。在校生も卒業式に向けて様々な取り組みを開始し応援しています。3月11日の卒業式に晴々とした姿で飛び立ってほしいと思います。

そのような中、『プラスのストロークを贈ろう』ということで学級活動を行いました。“他人の価値や存在を認めるための働きかけ”を“ストローク”と言います。プラス（肯定的）のストロークには、“ほめる・なぐさめる・はげます・そうだね”などの言葉がけや、“ニコッとする・うなづく”などの態度があります。このプラスのストロークをもらおうと、人は幸せな気持ちになったり、自分の存在に意味を見いだすことができるそうです。付箋に“自分の良いところ”を書いたり、“相手の良いところ”を贈り合うことで、勇気づけたり元気づけることができました。3年間共に過ごしてきた仲間へ贈る最後のメッセージになったのではないのでしょうか…。



## 図書委員会が“ブックトーク”を行いました！

2月2日朝読書の時間に、図書委員が各クラスへ“ブックトーク”に出かけました。11月に学校支援ボランティアの方々にお世話になったことを受けて、『自分たちもやってみよう…』ということになり実施しました。

昨年度までは、準備された絵本の中から選定し読み聞かせを実施していましたが、今年度は『自分たちが普段読んでみておすすめしたい本を紹介したい…』という生徒の声を生かして実施しました。

練習では声の大きさや紹介文についてお互いにアドバイスし合い、まず3年生が手本を示しながら本番さながらのリハーサルをして当日を迎えました。図書委員全員が他学年に読みに出かけたので、とても緊張した様子でしたが、クラス全員が静かに耳を傾けてくれ、喜びを感じたり、『次はこうしてみたい』と新たな目標を持つこともできました。後日、紹介した本を図書室に借りにきてくれた生徒もいたので、図書委員の活動の効果だったのではないのでしょうか…。



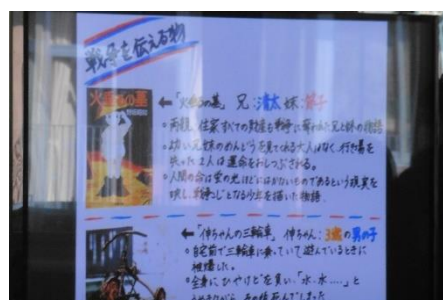
- 【3月の主な行事】※詳細につきましては、“中央中学校ホームページ”をご確認ください
- 1日：3年直前テスト 2～3日：1年生・2年生 学年末テスト 2日：職員会議
- 8～9日：3年公立高校一般入試 10日：卒業式予行 11日：卒業式
- 16日：公立高校合格発表 17日：専門委員会 18日：新入生物品販売
- 23日：校内研修 24日：大掃除 25日：修了式 28日～：学年末休業
- ※ 進路関係の詳細は、進路予定表を…

## 2年生『平和学習の成果』を発表！

2月10日に、来年度修学旅行を迎える2年生が戦争と平和について考えました。現在、世界が情勢不安になる中での発表会に意義も大きかったのではないのでしょうか…。平和学習は、全5時間で行われました。各班が“テーマ”を決め、タブレットや本を参考に調べたことを資料にまとめ発表しました。実行委員平和担当が司会を行い、『できる限り内容を覚え、原稿を見ず、顔を上げながら、自分のことばで語りかける…』ことを大切にしました。内容的にも重たいテーマであり、始まると背筋も伸び、静まりかえった中でのスタートとなりました。発表に使ったシートも改めて廊下に掲示し、戦争と平和について考えたり、別の視点で捉えるきっかけとなったのではないのでしょうか…。

### ☆生徒の振り返りより（一部抜粋）

- 今、自分たちが思っている「当たり前」は、戦争中の人たちにとって「当たり前」ではなく、(中略)…だから今平和に生きていられる。自分たちの「当たり前」を大切に生きていきたいと思った。
- 戦争は決して忘れてはいけない事実で、この事実を未来の人々にも伝えて(中略)…修学旅行では、いろいろな地域を訪れるけど、そのような過去を頭に入れて、しっかり学びを深めたいと思った。



## 1年生“職業調べ”で、家族にインタビュー！

2月1日に1年生が総合の時間を使って“将来、就きたい職業”について、家族へのインタビューも含めて本やインターネットで調べ、タブレットでまとめました。作成した資料と身近な方の職業インタビューの内容を、班の中でお互いに発表し、仕事の大変さややりがい、夢をかなえるために今自分がすべきことを考えることができました。



【1年生の振り返りは、紙面の都合で“3月号”に「掲載します」】

### つばやき…

今週は、3月中旬から下旬並みの気温になるとのこと…。春を迎えるこの季節になると、季候も良くなり、うれしくなるはずなのに複雑な気持ちになってしまう…。それは“別れ”と“出会い”の季節だから…。教員をしていると3月には3年生が卒業を迎え、一緒に働いた先生方が転勤する…。本来ならこれから新しい場所での活躍を期待して喜ばしいことなのだが、つつい先の心配をしてしまう。ノートルダム清心学園の故・渡辺和子さんの『置かれた場所で咲きなさい』という前向きな言葉がそれを打ち消してくれるのだが、やはり少しの心配が消えない。今、校長室に2鉢のピオラが咲いているのだが、1鉢は葉っぱも生い茂り花びらも大きい、もう1鉢は葉っぱも小さく花びらも小さい。でも、どちらもとてもきれいな花を咲かしている。なんか歌にもあったような“No.1よりオンリーワン♪”なんて…。みんなを信じれる大きな人間を目指したいです…。